

廃棄物の野外焼却(野焼き)は原則禁止です。引き続きご協力ください。問い合わせ 都市環境部みどり環境課

児童クラブの 申込書を 配布しています

平成24年度児童クラブの申込書を、各児童クラブ及び児童課

児童(いきいきプラザ1階)の窓口で配布しています。
※申込み方法等詳細は、市報1月1日号でお知らせする予定です。
問い合わせ 子ども家庭部児童課



☎393・9222

第84回 市民歩け歩け運動

東京スカイツリーを間近に見ながら新春の隅田川七福神めぐりに参加してみませんか。
日時 1月22日(日)
午前9時に東武伊勢崎線堀切駅東口に集合



市民歩け歩け運動の様子

※距離約5km
定員 先着100名
参加費 無料

ソフトテニス教室

日程 1月29日・2月26日の
毎週日曜日、全5回
時間 午前9時30分～午後0時45分
場所 運動公園テニスコート
(恩多町1-51-1)
対象 市内在住・在学の小学5・6年生及び高校生以上
のから
※応募者多数の場合は抽選



参加費 小学5・6年生 500円、高校生以上 1千500円
※運動のできる服装で
講師 東村山市ソフトテニス連盟
主催 社団法人東村山市体育協会
申込み問い合わせ 電話又は、任意の用紙に住所・氏名・ふりがな・年齢・(学校名)・電話番号を明記しファクスで、1月10日(火)までに社団法人東村山市体育協会(☎397・1212、FAX 398・5543)へ

市長への手紙

皆さんからいただいた「市長への手紙・ファクス」は、受け付け後14日、「市長へのEメール」は、受け付け後10日を目標に回答しています。
経営政策部広報課

内容	郵送	FAX	Eメール
事業への提言	2	0	3
施設への提言	3	2	2
道路・川・公園	1	0	3
環境	0	0	3
職員の対応	2	0	3
その他	2	1	21
合計	10	3	35

じんましん

じんましんは多くの方々が悩まされることの多い病気のひとつです。アレルギーの視点からいろいろな検査をしても原因が特定できないことがおよそ7割に達します。突然、蚊に刺されたような赤い膨らみが皮膚に出現して拡大し、ひどいかゆみを伴います。発しんは数十分で消失するものから一日くらい持続するものまでありますが、跡が残らずに消失するのが特徴です。一般的に夕方から明け方に悪化しやすいので、疲れをとるなどの体調管理が大切になります。

お薬の内服は大事ですが、日常生活での疲労やストレスはじんましんを誘発し、悪化させるので、疲れをためず上手にストレス発散するように心がけてください。

東村山市医師会

クリスマス会 市民ステーション「サンバルネ」キッズルーム

日程 12月19日(月)～22日(木)
時間 ①午前10時～11時30分、②午後2時～3時30分
場所 市民ステーション「サンバルネ」内キッズコーナー(東村山駅西口・ワンズタワー3階)
対象 満2歳児～未就学児
定員 各回先着5名
内容 絵本の読み聞かせ、ペープサート(紙人形劇)、クリスマスカード作成、ぬいぐるみ探しゲームほか
参加費 500円
※このほかキッズルーム使用料(保護者がサンバルネを利用 500円、それ以外 1千500円)がかかります。
申込み 前日の午後5時までに電話又は直接サンバルネ3階総務窓口へ
問い合わせ サンバルネ総務窓口(☎395・5115)



東村山つながりマップ いきいきプラザに展示

市では、「東村山つながりマップ」を、12月28日(水)まで、いきいきプラザ1階ロビーに展示しています。
同マップは、子ども虐待防止のオレンジリボンキャンペーンにちなんで制作されました。
人と人とのつながりの中で安心して暮らせる東村山市であることを願って、市民健康のつどいに来場した皆さんが、大切な人への一言メッセージを人型の用紙に書いて市の地図に貼りました。
★子育てに悩んでいるかたや、「虐待かな」と思われる子どもや家庭に気づいたかたは問い合わせ先へご相談ください。



市民健康のつどい(11月開催)の様子

問い合わせ 市・子ども家庭支援センター(☎390・2271)

八国山たいけんの里

1月の 体験イベント

大人の縄文土器教室
下宅部遺跡から出土した土器をモデルに縄文土器づくり挑戦します。
日時 1月9日(祝)午後1時30分～4時30分
定員 先着10名
費用 500円(材料費)
※作品は2月4日(土)に焼き上げます。
申込み 12月18日(日)午前9時30分前直接又は電話でたいけんの里(野口町3-48-1、☎390・2161)へ
問い合わせ 八国山たいけんの里



大人の縄文土器教室の様子

ふるさと 歴史だより

民俗芸能としての「双盤念仏」

昔の正福寺地蔵堂の大祭は9月23・24日の両日でした。お祭りには地蔵堂のわきに張り出された舞台から千体地蔵にちなんで、千個の力団子が撒かれ、これを食べると病氣や災難除けになるといわれました。また戦前には昼夜にわたり双盤念仏が行われ、鉦の音が東村山駅周辺まで響きわたったということです。
狭山丘陵周辺の薬師堂や観音堂などのお祭りに双盤という大きな鉦をたたきながら、節を付けた念仏を唱える行事がありました。念仏のとなえ方も唄のように流麗で、鉦と太鼓との掛け合い、またところにより耳

をつんざくような音量は聞く者を圧倒するほどの迫力があります。信仰行事というよりも民俗芸能としてとらえられています。
これを行うのはムラの若者青年が結集した「連中」が主体でした。江戸後期から明治期にかけて流行し、盛んに行われていたが、昭和初期から下火となり戦時中の金属供出で鉦を失い、ほとんどのところで伝承が絶えてしまいました。市内では野口・大倍・久米川・秋津の各地域で行われていました。
このような行事をこの近郊では「カネハリ」と呼んでいます。狭山丘陵でも大きな規模の行事だったのが山口観音(所沢市)で10月に行われるお十夜です。狭山丘陵周辺では武蔵村山市宿の薬師堂、入間市宮寺の西久保観音堂で現在でも行われています。
ふるさと歴史館

青少年の健全育成をはかるために

しっかりした青少年に 育ててほしい

中央教育審議会でのヒアリングで、ある役職者が18～30歳の間で一年間老人ホームや介護施設で働くことを義務付けてはどうかと提案したそうです。それに對し異論を唱える委員はいなかったというところを、ある新聞記事で知りました。

成です。これからの社会で生き抜いて行くには、自立して社会のなかで活躍することが求められます。ゲーム感覚で万引きをしたり、ゲームやインターネット等の影響からバーチャルな世界が現実だと錯覚しているか見える若者たちに、現実社会の厳しさを体感してもらう機会が必要だと思えます。また、ある登山家が多少困難の予想される登山体験をしてもらおうと企画したところ、「面倒くさい」などと身を引いてしまう子どもが多かったそうです。

とすれば、青少年の奉仕活動に、国をあげて取り組まなければならないと思います。当市においても同様の対応が望まれます。
幼児教育を担っている立場から、乳幼児期から掃除や片付け等の手伝いをさせるとか、地域の行事に親子で参加させる一方で、主催者はその行事の中で子どもの役割分担を確保しておくことが大切だと考えます。
これから国際化が進みます。進んでいく中で、意欲的で協調性のある子どもを育てるのが、我々大人の責務だと思えます。

東村山市青少年問題協議会(私立幼稚園協議会代表)

教育が国家戦略の一つであると思っており、この案には賛